※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ　Tutti＋（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「歌うこと」「音楽を作ること」などについて年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・その他、時間ごとの全ての取り組みを評価します。
・音楽が生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

【a:知識及び技能】
音楽の歴史や形態を理解するとともに、演奏技術の基礎を習得できるようにする。
【b:思考力、判断力、表現力等】
楽曲について考え、音楽的要素をもとに美しさや意義を理解できるようにする。また、法則に従い、演奏表現を工夫できるようにする。
【c: 学びに向かう力、人間性等】
音楽の演奏や表出に主体的に取り組むことで、音楽に対する感性を育み、生涯を通してより人生を豊かにすることができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	楽典	・基本的な知識 ・知識を活用した実技 ・演奏動画の視聴	a:　演奏するための基礎知識を身に着けている。知識を活用して演奏に取り組もうとしている。 b:　知識を活用し、さらに自己の考えを誘発しながら演奏表現しようとしている。 c:楽典内容に関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 プリント 小テスト	ワークシート 実技試験 プリント	観察 ワークシート
	ギター　旋律奏	・旋律奏の演奏技術 ・練習曲の演奏 ・タブ譜に関する知識 ・演奏動画の視聴	a:　創意工夫を生かした器楽表器をするために必要な表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 b:旋律の響きを感受しながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:　ギターに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 プリント 小テスト	ワークシート 実技試験 プリント	観察 ワークシート
二学期	ギター　コード奏	・コード奏の演奏技術 ・練習曲の演奏 ・コードに関する知識 ・演奏動画の視聴	a:　創意工夫を生かした器楽表器をするために必要な表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 b:コードの響きを感受しながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:　ギターに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 プリント 小テスト	ワークシート 実技試験 プリント	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	鍵盤楽器演奏	・単旋律または複旋律の演奏技術 ・練習曲の演奏 ・楽典 ・演奏動画の視聴	a: 創意工夫を生かした器楽表器をするために必要な表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 b:鍵盤楽器の響きを感受しながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c: 鍵盤楽器に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 プリント 小テスト	ワークシート 実技試験 プリント	観察 ワークシート
三学期	歌唱	・発声練習 ・校歌や卒業式の歌の歌唱	a: 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 b:メロディーやハーモニー同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c: 発声法や歌詞や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 プリント 小テスト	ワークシート 実技試験 プリント	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度